

PIAZZA

ピアッツァ
2025 vol.10

世界教養の知のひろばへ

出版会創立10周年記念特別号

特集

夢と出会う



名古屋外国語大学出版会

特集 **夢と出会う**

目次

ようこそ、広場へ ビ・アツツ ◎大岩昌子 02

特集
夢と出会う 08

特集インタビュー

あなただけの夢と出会う ◎亀山郁夫

ジェラートの夢 昔懐かしい夢の

ジェラートを求め◎アレックス・サンドロ・G. ジェレヴィーニ

共に遥かな夢に向かって◎岡田新

イスラム教徒の夢を追う◎八木久美子

人生の岐路となった私の「夢」―高校留学◎櫻井省吾

複言語の世界 24

スワヒリ語

スワヒリ語は意外と身近!?◎高村美也子

出版会編集委員コラム

「夢」にまつわるお話 28

◎石田聖子 吉見かおる 原慎之介
マルシャレンコヤコプエリック

特別読書エッセイ

「選ん読（えらんどく）」のすすめ◎土橋由明 32

レポートの書き方 ^⑩「研究レポート（卒業論文の書き方（2）」◎真田郷史 33

キャンパス通信
NUFS & NUAS 読書コメント大賞 37

出版会から

夢の中で会う◎金関ふき子 43

図書館より 44

また会いましょう 48

ようこそ、広場へ^{ビ・ア・ツツ}

大岩 昌子

名古屋外国語大学出版会編集長

今年の三月、名古屋市美術館で開催された「空想旅行案内人ジャン・ミッシェル・フォロン」展を訪れました。多才なアーティストだったフォロンは、その不思議で幻想的な作風のなかに、さまざまな社会的テーマを忍ばせて告白するといった姿勢が作品全体から感じられ、強く印象に残る展覧会となりました。

なかでもっとも気になったのが、矢印の標識を扱った作品群です。世界は矢印であふれていることに気づいたフォロンは、ある街から別の街に移動する間に見つけた矢印すべてを数えあげたと言われています。ふだん矢印は、私たちに正しい行き先を示してくれます。一見便利な標識ですが、フォロンの作品を通してみると、それはまるで一つの命令のようにも感じられます。頭から四方八方へ矢印が生え出た人間たち。

人生は選択の連続とも形容されますが、あまりに膨大な矢印に接することで、考える気力が奪われ、無自覚に行動する様相も透けてきます。都市化による環境破壊に反対姿勢を崩さなかった彼のメッセージが感じられる作品群ともいえるでしょうか。

一方、フォロンが地中海を臨むモナコのアトリエで過ごしてからは、

その後期の作品に、海と船のイメージが多く見られるようになります。そこに描かれた水平線や日の出には、なにかしら夢や希望が感じられ、温かい気持ちで会場をあとにしました。

ここで、名古屋外国語大学出版会について紹介しましょう。とくに、英語や世界教養プログラムなどの授業で使用する教科書を製作しています。いま皆さんが手にしている教科書にも、当大学出版会から刊行されたものがあるはずです。また、入学式に配布された『長編小説40』を覚えていらっしゃるでしょうか。学生時代に一冊でもよいので、長編小説を手にとつて、のちの人生が変わるような読書体験をしてほしいと思います。

さらに「読書コメント大賞」を、大学図書館と共催しています。もちろん本はひとりで読んで楽しむのもよいのですが、だれかと思いを共有、あるいは批評しあうことも大切。自分の視点だけでなく、他者の視座も得ることができますから、自分の思考を深めることができます。十月には「読書コメント大賞」の募集が始まるので、積極的に応募してみてください。「読書によって変化した自分」は、確実に未来へと向かっています。

最後になりましたが、この冊子のタイトル Piazza は、イタリア語で「広場」を意味します。そして今号の特集は「夢と出会う」。皆さんへの思いが溢れるメッセージに、ぜひ耳を傾けてみてください。

大学とは、さまざまな世代や国籍の集団であり、大きく豊かな交流の

場として存在しています。皆さんはその一員として迎えられているのです。不透明な時代だからこそ、思いのままに、自由に生き生きとした大學生生活を送ってくれることを願っています。

あらためて、ようこそ、Piazzaへ。

おいわしょうこ

外国語学部・フランス語学科

~~~~~

先の展覧会を訪ねるきっかけをくださったのは、主催社の記者として取材した宮崎正嗣氏です。今回、この冊子のために素敵なエッセイを寄稿してくださいましたので、ここでご紹介します。

## 「空想旅行」に導かれて

宮崎 正嗣

中日新聞教育報道部

今年一～三月にかけて名古屋市美術館で開かれた展覧会「ジャン・ミッシェル・フォロン展」の事前取材のため、二〇二四年四月、ベルギーへ出張した。ジャン・ミッシェル・フォロン (Jean-Michel Folon、一九三四～二〇〇五年) は二十世紀のベルギーを代表する美術家。生前、日本で紹介されてきたのはほとんどがポスターや水彩画であったが、実際にはアニメーションや彫刻まで多彩な表現を手がけた「マルチアーティスト」であった。

展覧会のタイトル「空想旅行案内人」とは、フォロン自身が名刺に刻印していた肩書き「空想旅行エージェンシー (Agence de voyages imaginaires)」にちなむ。作風はいたってシンプル。多くの作品にはシルクハット姿の人物が登場し、浮遊するように旅している。訪問当時、ブリュッセルではフォロンの生誕九〇年を記念し、シルクハット姿の人物をかたどった作品などいくつもの彫刻が街の目抜き通り「ギャルリー・サンチュベール」やサブロン広場で観光

客を出迎えていた。あるいは、いまや世界有数の国際都市となったこの街から旅立つ人々を見送っていたのであろうか。

ブリュッセル郊外、ナポレオンの決戦の地として知られるワテルローにも近い森には、フォロンの作品や資料を集めたフォロン財団がある。飛躍のきっかけとなったイタリアのタイプライターメーカー「オリベッティ社」での仕事、フェデリコ・フェリーニら映画人との関わりなど、戦後ヨーロッパの、国境や分野を越えた芸術家たちの交友に触れられる。フォロンの足跡はフランス、そしてイタリアにも残っているが、本展でフォロンに関心をもたれた方がいれば、まずはここへ足を運んでみてほしい。



フォロン財団の中庭に置かれているシルクハット姿の彫像



ブリュッセル・芸術の丘に期間限定で設置されていたフォロンの彫刻作品

特集

# 夢と出会う



## あなただけの夢と出会う

特集インタビュー

## 亀山 郁夫

文・構成 金関ふき子

『PIAZZA』発刊と名古屋外国語大学出版会十周年を記念し、亀山郁夫学長に特別インタビューをお願いすることになりました。

亀山先生ご自身はどのように自分の夢と出会われたのか。今日にいたる七十六年の人生を振り返っていただきます。まず、幼い頃の思い出を語って頂こうと思います。

亀山郁夫先生（以下、亀山）では、遠慮ぬきで率直に語ってみますね。

人一倍臆病で、人一倍物覚えが悪くて、でも、人一倍思いやりのある少年、それが、私の少年時代の「人となり」です。三つ子の魂百まで、と言いますから、今もそう大きくは変わっていないと思いますが、いかがでしょうか。

小学生時代、私は、小説と英語と音楽の世界に生きていました。小四の夏でしたか、深夜、ラジオで放送されたベートーヴェンの《第九》を聴いた記憶があります。ただし、第一楽章だけでは寝入ってしまいました。世界的名指揮者ヴィルヘルム・フルトヴェングラーの名を知ったのはこの時で、クラシックオタクの兄から教わりました。

当時、読書の中心にあったのは、伝記です。子ども向けの偉人伝を片っ端から読んでいました。

なかでも強い印象を受けたのが、ベートーヴェンとヘレン・ケラーの二人。ご存じのように、この二人の「偉人」には、一つの悲しい共通点があります。それを知って以来、人一倍音楽好きだった私は、聴覚を失うという恐怖に苛まれるようになりました。中一のときにコンクールに応募した作文がそれを裏付けてくれます。作文のタイトルは、「溺死」。栃木県を中心に流れる鬼怒川という川で起こった実際の事件に基づいています。溺死した少年は、近所に住む聾啞の少年にひどく似ていました。その日、帰宅するや、少年の無事を確認するためすぐさま彼の家に駆けつけた事実をそのまま作文にしたのですね。担任の先生のサポートもあって、見事、特賞を射止めることができました（笑）。

——先生は、ロシアの作家ドストエフスキの翻訳者としても知られていますが、文学を志されたいきっかけとはどのようなものだったのでしょうか。

亀山 幼い頃から小説家になることを夢見ていました。ロシア文学に触れるきっかけは、中二の夏に読んだドストエフスキの『罪と罰』です。当時、中央公論社が発刊していた『世界の文学』シリーズの一巻として出たもので、二段組総計五百頁に近い小説を二週間かけて読み上げました。その時経験した主人公の青年ラスコーリニコフへの一種の憑依が、その後、一種のトラウマと化して、それから何年間にもわたって苦しめられることになりました。この時の、この本との出会いがなければ、良くも悪しくも今の私はないといつてよいでしょう。読書というのは、人の一生に、時として凶器のような鋭い爪痕を残すことがあるものなのです。

——高校生時代の先生は、やはり文学一辺倒の青年だったのでしょうか。

亀山 そうです。高校生時代の私は、まさに絵に描いたような文学青年でした。シェークスピアにかぶれ、ハムレット役を演じたいと願って、演劇部に入っただけです。しかし、残念ながら、

まともな役を与えず、出番待ちで半年間を棒に振りました。そういえば、夏目漱石の「こころ」に衝撃を受けたのは、この時期のことです。この小説で初めて、人間の愛に潜む業の深さを知りました。

思いだされるのは、高二の春に『カラマーゾフの兄弟』を読み、萩原朔太郎『絶望の逃走』、ショールペンハウエル『自殺について』を参考にして、「自殺小論」を書いたことです。思えば、私の批評家デビューでした（笑）。

——東京外国語大学時代は、全国的に学園紛争の嵐が吹き荒れた時代に当たっていますね。先生は、学生運動に関わられたのですか？

亀山 いえ、ほぼ完全な「ノンポリ（無党派）」として四年間を過ごしました。同級生の半数近くが、一年次終了時に逮捕されるという事件があり、私自身、親しい友人たちへの罪の意識から、素直な気持ちで授業に出ることができませんでした。

じつは、大学時代の四年間、だれかに何かを教わったという記憶がほとんどないのです。ロシア語は独学ですし、暇な時間は、チェロの練習と読書に明け暮れていました。ただ、最高の恩師に出会うことができました。新潮文庫から出ているドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』の訳者、原卓也先生です。この先生の教えを得るなかで、私の運命は決まりました。

ほかにも思い出は山ほどありますが、ここで自信をもって紹介できるのは、大学三年時に五十日間かけて『罪と罰』を原語で読み通したことです。そしてそれから半年後に同じドストエフスキーの『悪霊』を読み、私の人生観は大きく変わりました。善と悪の観念、憐憫と無関心は相対的なものであり、表裏一体をなしている、そんな発見に出合ったのです。卒論のタイトルは、「ドストエフスキー 悪の系譜について」。残念ながら、恩師の原先生から好意的な評価を頂くことはできませんでしたが、ここでは引用しませんが、私が、ドストエフスキーを離れる決心をしたのは、

まさに先生の厳しい一言がきっかけです。

——大学院時代は、どんなテーマについて研究しておられたのでしょうか。

亀山 卒業論文で讀いた私が、すぐさま試みたのが、自己改造です。大げさに聞こえるでしょうが、事実です。過剰な感情移入を要求しない文学を研究しようと思ひ立ちました。古臭い自分を脱ぎ捨てたかった。そのためにまず音楽の趣味を一から変える必要があると感じて、傾倒していたドイツ・ロマン派を捨て、ストラヴィンスキー、スクリャービンの前衛的作品を聴きはじめました。そのなかで、ヴェリミール・フレーブニコフという前衛詩人と出会います。修士論文のタイトルは、「始原への旅 フレーブニコフのプリミティヴィズム」。幸い、この論文によって、東京大学に設置されたばかりの大学院に、博士後期課程一期生として入学することができたのです。

——三十代の経験で何かしら決定的な影響を受けた事件はありますか。

亀山 誘導尋問めいた響きを感じます（笑）。

フレーブニコフという、ほとんど前代未聞、空前絶後ともいべき鬼才と一対一で対峙しつづけるのは、孤独でかつ非常につらい経験でした。そうしたなか、長期留学の機会がめぐってきます。ところが、夏の休暇を利用した調査旅行中に、恐ろしい事件に遭遇します。ヴォルガ河畔の町ウリヤノフスクの町で突如身柄を拘束されたのです。スパイ容疑でした。六時間以上にわたる取調べ中に、「銃殺されても文句はいえない」と係官から脅しつけられました。日本から母の死の知らせがあつて間もなくのことで、私はすべてを失うかもしれないとの予感に怯え、絶望しました。この体験はしかし、私の研究に途轍もなくポジティブな影響を与えることになります。フレーブニコフの評伝を書き上げたあと、私はただちに、スターリン時代の知識人をめぐる研究に入つたのです。理由は、他でもありません、独裁政治下に生きる芸術家や詩人たちの恐怖の物語を、

自分が経験した恐怖に重ねて書きたかったからです。その成果が、私の二番目の本格的著作である『磔のロシア スターリンと芸術家たち』です。後でも述べますが、災い転じて福となす、を実感するのは、この本の刊行から半年後のことです。

——先生は、教育者の一家に育ったと伺いました。今、学長として大学に携わっている事実と若い頃の家庭環境との間には何かしら因果関係があると思われますか？

亀山 私は、大学時代、高校の英語の先生をめざして教職科目をとっていました。教師として生きることを選択肢の一つに考えていたからです。しかし最終的には、大学院進学を決意し、研究者の道に入りました。

最近、学長として痛感するのは、人から学ぶことの大切さです。独学には限界があります。そして、大学での学びの目標の一つは、優れた教師と出会うことにあります。いえ、大学時代だけではなく、長い人生を通じて、良きメンターに出会えるかどうか、決定的な意味を帯びてきます。出会うためには、何よりも素直な心、謙虚な気持ちが必要かもしれません。

——長い人生のなかで、さまざまな経験をされてきたことと思います。数々の賞もご受賞なさっています。同時に、数々の困難も乗り越えられてきたことでしょう。長い人生を生きぬくために、どのような心がけが大切だと思われますか。

亀山 人生は山あり谷あります。順風満帆の人生を送ることが人の幸せというわけではありません。危機や困難を乗り越えることができてこそ、人生です。苦しみこそが、人生だ、というのは、私が永く研究してきた作家ドストエフスキーの言葉です。

私の場合、すでに述べた在外研究中に遭遇した事件が最大の困難ですが、最終的に救いの道は、自分を信じることにしかありません。私はつねに、人生万事塞翁が馬、という諺をつぶやき続け

ながら生きてきました。そして、ある時、最後の切り札ともいうべき言葉を自分なりに考えたのです。

「これで、死ぬわけではない。苦しみが永遠に続くということはない。生きてある限り、必ず喜びは訪れる、だから、生きて、耐えよ」。

しかしこの境地に至るには、それなりの努力が必要です。というのも、命がいかに大切かというのを身をもって知る必要があるからです。命が喜びの源泉であることを知るには、どんな欲に知識を吸収し、優れた文物に触れ、人と親しく交わり、教養を積みあげていかななくてはなりません。

——これまで、大切な人や物を大切にできてきましたか？ 後悔していることは？

亀山 私 は、三十代の前半で、父と母を亡くしました。大学入学と同時に故郷の宇都宮市を離れましたので、父、母とまともに言葉を交わした記憶がないのです。それが残念に思うことの一つです。後悔は、数知れずあります。ただ、後悔することでも何かしら取り戻すことができるのであれば、これからも存分に後悔し続けるでしょうね（笑）。

しかし、後悔、後に立たずです。そもそも私は、学習能力に若干欠けているところがあります。敢えて一つ紹介すれば、自分の健康に対して呆れるほど神経質な私が、ほとんど健康を顧みずに仕事に没頭し続けてきたということです。詩人の研究もそうですし、スターリン時代の文化研究もそうです。しかし何といっても、ドストエフスキーの翻訳に捧げた十七年間です。文字通り、命を削りました。しかし、結局のところ、そうした没頭がなければ、人生の成果と呼びえるものはなかなか生み出せません。寝食を忘れて没頭できる時間は幸せです。ただ、それが確実に命を縮めているという事実だけは忘れてほしくありません。人生百年を、焦らず、じつくりと、健やかに生き延びる智慧を探りあてましょう。

——世は、AI万能時代。とくに生成AIとの共生が話題となっていますが、先生は、AIに主導される人類の将来をどんなふうに眺めておられますか。

亀山 楽観的です。人生の色合いが少し変わるだけです。生成AIは、私の研究にとっても、不可欠のツールとなりつつあります。問題意識が高まれば高まるほど、威力を発揮するでしょう。ただし、生成AIを有効に活用するには、それに多少とも対抗できるだけの知識と問題意識の蓄積が必要です。でなければ、宝の持ち腐れとなるでしょう。主導権は、あくまでも人間の側にあるのですから。人間がいなければ、AIそのものが無用なのですから。

——先生の人生、いわゆるドライブがかかったような鮮烈な出来事がありましたか。

亀山 二つだけ、挙げようと思います。一つは、五十二歳のときに大佛次郎賞を受けたことです。例のスパイ容疑事件が幸運を呼んでくれたのです。受賞対象となった『磔のロシア』にかけた時間は、賞味三年ほどです。かつて、フレイブニコフという詩人の評伝を書くのに、十七年かかったのは対照的です。

もう一つは、ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』の翻訳でプーシキンメダルを受章したことでしょうか。ロシア大統領府の公式ホームページにいきなり名前が掲載され、急遽、モスクワに飛びました。授賞式は、帝政ロシア時代からの由緒あるゲオルギーの間で行われ、ファンファレーとともにステージに呼ばれた私は、当時のメドヴェージェフ大統領からじきじきに首にメダルをかけてもらいました。この栄誉が、ウクライナ戦争勃発によって恐ろしい悪夢と化すことになるうとは……。

——先生の人生における三大事件を挙げていただけますか。

亀山 繰り返しになりますが、一は、中学二年生のときに『罪と罰』を読了したこと。二は、三十三歳の年にスパイ容疑で拘束されたこと。三は、ドストエフスキー『カラマーゾフの兄弟』のミリオンセラー化。人生というのは、山あり、谷ありです。

——現在、出版を予定している本がありましたら、簡単にご紹介ください。名古屋外大出版会への期待も。

亀山 今年二〇二五年は、作曲家ドミートリー・ショスタコーヴィチの没後五十年に当たります。それを記念して、この夏に対談集が出ます。それから、これまで書き貯めてきたエッセイや書評を一冊にまとめようと考えています。タイトルはもう決まっていますよ。『ジュピターよ、汝は怒れり』。意味、お分かりになりますか。「ジュピター」とは、いつたいだれのことでしょう。まだ、本になっていない文章で、太宰治論があるのですが、いつか名古屋外国語大学出版会のお世話になれば、と。出版会は、着実に成長を遂げつつあります。先生がたの研究の励みとなり、学生たちの知の泉となることを願っています。

——これから長い人生をサバイブしていく学生のみなさんに一言。

亀山 人生というのは、結局のところ、自分とは何なのかを、問いつづける長い旅です。十代の若さでそれに気づく人もいるし、七十を越えても、答えを見いだせずに苦しんでいる人もいます。私も、後期高齢者の仲間入りを果たして、ようやく自分の何たるかが見えてきました。もう少し大らかな人間になりたいと願っています。真の教養人は、自分に厳しく、世界に優しい人のことをいいます。

亀山 郁夫（かめやまいくお） 名古屋外国語大学学長

# ジェラートの夢

昔懐かしい夢のジェラートを求め

アレックスアンドロ・G. ジェレヴィーニ

北イタリア平野の七〇年代の真夏日。

とうもうろこし畑に太陽が容赦なく照りつけている。茎はすでに人の背丈を越え、果てしない黄色の壁を作っている。

遠く、揺れる穂の間から、日差しで焼けた土のような暖かい赤茶色をした煉瓦造りの大きな家が見える。空気が蟬の絶え間ない鳴き声で震え、それが真昼の静寂を破る唯一の音だ。

午後二時。温度計は三十度ををはるかに超えている。その灼熱の空の下ではいかなる営みも至難の業だ。

大きな家の中では、空気はまるで止まっているかのようで、静けさに満ちている。五歳にも満たない三人の子供たちは無言でキッチンに侵入した。裸足で冷たい石畳をこっそりと歩くその小さな泥棒たちは、家族のいない瞬間を掴んだ。

大人の中には再び仕事に戻った人もいれば、疲れて昼寝に入った人もいる。目覚めたときに猛暑が少しでも和らいでいることを期待して。

三人の子供たちは息をひそめ、秘密の遊びのように、部屋奥に着いた。そして冷凍庫の扉をゆっくり開ける。

中には、さまざまな容器の間に隠された宝物がある。それは、テレーザおばあちゃんが手作りしたバニラ風味ジェラートのキューブだ。

誰かに見つかるのを恐れながら、慎重に氷皿を手に取り。その中の小さなキューブは、何か魔法のようなものでできていると分かっている。

そのグループには、わたしの兄、いとこのエレナ、そしてわたし自身がいる。少し型をひねると、キューブが簡単に外れる。わたしたちは一粒ずつを取り、ためらうことなく口に入れ、夢中で舐め始める。

その瞬間、目が覚めた。

気づくとわたしは、日本の自分のベッドにいて、まだ歯ぎしりをしている。バニラの濃厚な味が口の隅々に広がっている甘い錯覚を味わいながら。

残念ながら、ただの夢だった。けれど、それは確か、かつて本当にあった出来事を蘇らせる夢だった。

言うまでもないが、わたしの子供の頃、「現代」のジェラート——クリーミーで滑らかに溶けるタイプのも——は、どこのジェラテリアやスーパードでもすでに売っていた。

ただど手作りのジェラートというのは、まだ特別なもので、その作り方はどこか神秘的な儀式のようだった。大半のイタリア人が、広く崇拜されていた一種の呪術師のような人物が残した作り方を厳守していたほ  
どだ。

二十世紀初頭に生まれたわたしの祖母テレザも、その一人だった。何世代にもわたって伝わった、イタリア料理の「バイブル」とされてきた本、一八九一年に初めて出版されたペツレグリーノ・アルトゥージ著の『料理の科学と上手に食べる術』のジェラートの作り方は無敵のレシピだった。

しかしその本は、単なるレシピ集ではなかった。そこには、料理の他に助言、礼儀作法、逸話などが溢れるほどにつづられており、もはや遠い過去のライフスタイルそのものが描かれていた。

今でもそのページをめくるとは、十九世紀末のイタリアが覗ける窓を開けるようなものだ。そしてその本は、イタリアのどこの家にも必ずあった。たとえ書籍が少ない家庭でも、アルトゥージのその幻の一冊はどここのキッチンにもあり、日常の一部にしていた人たちは少なくなかったようだ。

驚いたことに、調べると『料理の科学と上手に食べる術』は二〇二二年に日本語にも翻訳されていることが分かった……。

今は、昔のイタリアの伝統の進化版とみなされる方法で作られるイタリアンジェラートを、世界中のさまざまな国で食べることができると時代だ。とくにここ日本では、値段は少し高いけど、本物に近いものを見つけていることができると思えるを得ない。

口の中でしばらく溶かさないと思えないあの凍ったジェラート、あの濃い味のキューブの喜びは、もはや遠い記憶となっている。

確かに、今と異なると昔のキューブは、一気に食べられるものではなかった。一度口に入れたら、少しづつ、そして一生懸命それをしゃぶり、味が口いっぱいになるのを堪能しなければいけなかった。簡単に噛めないで、数分を待つ我慢さえ欠かすなかつた。たとえ早く飲み込めたとしても、頭にキーンとくる危険性もあつたので、そのリスクを見積もりながらゆっくり味わうしかなかった。贅沢にも思える甘いジレンマのようだった。

今では、その感覚は記憶の中にしか残っていない。残念ながら、あの味に再び出会えるのは、夢の中だけなのだろう。



Alessandro G. Gervini  
現代国際学部・現代英語学科

# 共に遥かな夢に向かつて

岡田 新

夢も革命的でありえる。こう言ったのは、ロシアの革命家であった。現実には伏す。それだけでは、未来を創ることはできない。夢をみる。そこから、未来は始まる。世界一の吊り橋、明石海峡大橋も、長くただの夢物語だった。「人生すべからく夢なくしてはかないません。」四国と本州をつなぐ夢を抱き続けた神戸市長原口の言葉である。この夢を実現するために生涯を賭けた人たちがいた。激しい潮流を見下ろす橋は、夢の上に聳えている。

遥かな夢は、若者の特権だ。明治維新を担った西郷も大久保も桂も坂本龍馬も、あきれるほどに若かった。黒船が殺到した時、新しい国造りの夢を見て、年輪を刻んだ大樹、幕藩体制を切り倒したのは、そうした若人だった。

夢を抱く若者の瞳は輝く。JICAの依頼で二十年前近く、世界の隅々からやってきた若者に戦後日本の話をした。参加者の顔は、例外なくいずれもキラ

キラと輝いていた。もっとも作法は文化によって違った。

ある日中国とインド、日本の学生に講義をする機会があった。中国の学生は、凜とした緊張感の中、一心不乱に漢字でノートをとっていた。話が終わると質問の手が林のように上がる。いずれも鋭い質問だった。礼を失わないが、グイグイと食い入ってくる。汗をかいた。「一体、中国はまだ日本から学ぶことなどあるのか。」そんな辛い質問も飛んで来た。日本の失敗から学ぶべきではないか、こうかううじて答えた。

午後からはインド。いくら会場数を踏んでいたのでも、インド英語に戸惑うことはなかった。しかし五分もしないうちに質問が殺到。最初の質問になんとか答えるうち、反対側から別の質問が飛んでくる。あたふたと答えるうちにまた別の方向から質問が飛んでくる。なんと最初の質問とそっくり同じ質問であった。あつという間に一時間ぐらい経ってしまった。まとまった話することなどとてもできない。ものすごい熱気が部屋にこもり、カオスというにふさわしい。中国とインドの文化がこれほど対照的で

あるとは。初めて身にしてみて知った。

それから自分の大学に帰って、日本の学生たちに話をした。中国と同じく静かである。だがほとんど誰もノートを取る素振りすらしない。質問もない。こくりこくりと居眠りしてるものもいる。拍子抜けした。これじゃあ日本は負けるよね、と正直思った。

日本の若者よ、もっともつと無邪気に勇気をもつて夢を見てほしい。大空に向かって羽ばたくような夢を。笑われてもいい。笑われるくらいでちょうどいいのだ。野蠻になつて欲しい。むきになつて欲しい。叱られるくらいがちょうどいいのだ。

だが夢にはもう一つ重要な意味がある。青春というのは子供が大人に生まれ変わる危険な時間だ。多くの人がこの時に挫折を味わい、精神の危機を迎える。偉大な思想家は皆この深い危機を乗り越えてきた。そんな危機に陥った若者をたくさん身近に見てきた。柄にもなくそのためにカウンセリングや心理療法の本を積み上げて読むことになった。その一つに夢分析というのがある。試みに夢日記をつけてみた。そうすると、怖いほど深い夢を見るようになる。正直驚いた。専門家ではないからこれ以上立ち入ら

ない。だがこれだけは言っておこう。挫折は決して恥ずかしいことではない。挫折しない人生などない。誰でも挫折する。挫折をどう乗り越えるか。それで人生が決まる。挫折を恐れず、乗り越えられる人。そんな人だけが、立派な仕事ができる。「人と比べるな、昨日の自分と比べよ。」フランスの哲学者ルソーの言葉である。

もし苦しい時があれば、受け止めてくれる友人、教員、職員をためらいなく頼ろう。大したことはできないかもしれない。だが一緒に悩み、一緒に苦しみ、きつとあなたを支えてくれるだろう。私たちは、そのためにここにいる。あなたの未来への同伴者になるために。



おかだしん  
外国語学部・英米語学科

# イスラム教徒の夢を追う

八木 久美子

私は大学に入っすぐ、アラビア語を専門的に学び始めた。少しずつではあるが、アラビア語が使えるようになると、急に知りたくなるのは、アラビア語を日常的に使うて生きている人々のことだ。「どんな人たち?」「何が好き?」といった疑問が次々にわいてきた。

アラブの人々のことを知るには、まずはイスラムという宗教を学べばよいのではないかと考えたのは間違っではないなかつたと思う。しかしそこらの道はそう平たんではなかつた。イスラムについての入門書を読むと、イスラムの教義や儀礼についての型通りの説明はある。イスラム教徒が辿つた歴史について、書かれたものも少なくはなかつた。しかしどこか物足らなかつたのは、そうしたものを讀んでも、イスラムの信仰をもつ人々の心のうち、内面世界が見えてこなかつたからである。イスラム教徒は、神にどのような思いを向けているのだろう。神は、彼ら／彼女らにとってどのような存在なのだろう。こういう問いが頭から離

れなかつた。

大学院に入つて、さらに勉強を続けていくなかで「これだ!」と思う本に出会つた。それはニコルソンという研究者が二十世紀の初めに書いた、『イスラムの神秘主義』(オリエント選書 一九八〇年)である。この本は、神(アッラー)を愛してやまない人々が、いつか神と出会い、一つになれる日を夢見て修行を重ねる姿を、彼ら／彼女らが詠んだ詩を紹介することで教えてくれた。

## イブン・アラビー(一一六五—一二四〇)

イブン・アラビーとは、イスラムの神秘主義の流れを代表する人物である。彼の詩の一節を挙げよう。

私の心はあらゆる形をとることができる。

それは羚羊の牧場、キリスト教の修道院、

また、偶像を祀る寺院、巡礼者のカーバ神殿、

モーセの律法の書板、コーランの書、

私は愛の宗教に従う、らくだがどちらに歩もうと、

私の宗教と信仰は真の宗教である。

イスラムは厳格な一神教と言われる。しかしそれは、イスラムがイスラム以外のすべてを拒絶することを意味してなどいない。逆である。イスラム教徒にとって、神は万物の創造主である。つまり、この世のすべてのものは——キリスト教徒であれ、偶像崇拜者であれ、ユダヤ教徒であれ、——神によって創られたものなのだ。自らが愛してやまない神によって創られたものは、自らも愛さずにはいられない、という考え方が生まれる。一神教ならではの寛容性の源泉がここにある。

### ラービア・アダウィーヤ（七一七―七九六）

もうひとり、神秘家を挙げよう。ラービアは非常に篤い信仰をもつことで有名な女性だった。もとは奴隸の身分であったが、その深い信仰心に感動した主人が彼女を解放したと言われている。それによって、彼女は修行の道に入ることが許された。

彼女もまた、いつか神と出会う日を夢見て、修行を重ねるなかで数々の詩を読んでいる。そこに見えるのは——そのような言い方が適切であるかは心もとないが——究極の恋愛感情とも呼びたくなるような思いだ。彼女は苦を避けようとも、楽を求めようともしな

い。自分の欲望を満たすことなど、彼女には何の意味もない。彼女が礼拝するのは、天国に行きたいからでもないし、地獄が怖いからでもない。ただ神（あなた）を礼拝したいから、そうさせてくれ、と彼女は神に懇願する。

おお、神よ。もし私が地獄を恐れるあまりあなたを礼拝しているのなら、私を地獄で焼いてください。もし天国が欲しくてあなたを礼拝するのでしたら、私を天国から除外してください。しかし、もし私があなた自身の故にあなたを礼拝するのでしたら、あなたの永遠の美を取り上げないでください。

こうした言葉に触れたとき、イスラムの信仰をもつ人々の内面世界に触れたい、という自分の夢に一歩近づいたような気がしたのは言うまでもない。



やぎくみこ  
世界教養学部・世界教養学科

## 人生の岐路となった私の「夢」

## ——高校留学

櫻井 省吾

## 幼少期の夢

子供の頃、私も尋常一様に夢を持っていた。小学校低学年の頃は車が好きだったので、学校の作文に「将来タクシーの運転手になりたい」と書いた覚えがある。その頃の夢はそれほど現実味があるわけではなく、また、強い動機や意思も伴わない、ある種、妄想に似たようなもので、いつの間にかどこかへ消えていつてしまった。その後、小学校高学年で、同級生に誘われて近所のテニススクールに通うようになり、テニスのおもしろさに魅せられて、「プロのテニス選手になりたい」と思うようになった。毎日テニスに明け暮れる日々をおくっていたが、対外試合でなかなか勝ち進むことができず、自然と「叶わぬ夢」という現実を受け入れるようになった（ただ、大好きだったので趣味として社会人まで続けたが……）。

## アメリカ高校留学

初めて、どうしても諦められず、それ以外の道は絶

対に考えられないとまで思った夢（少々大げさだが）を持ったのは中学校二年の時だった。それは、「アメリカの高校へ行く」という夢だった。これまで何度か「どうして中学校の時にアメリカへ行くことを思いついたのですか」と聞かれたが、今ではその切っ掛けすら覚えていない。きつと、アメリカ映画やドラマの影響だったのではないと思う。ただ、中学校二年以降は自分の中で絶対にアメリカの高校へ行くことと決めていたので、毎日英語だけは必至に勉強した。当時「一年間に一〇〇〇時間（一日三時間）英語を聞くだけでペラペラになる」という英語教材の広告を信じて、わからないうちにも毎日テレビ・ラジオ講座を録音しては何度も繰り返し聞いたり、洋画や海外のドラマを副音声にして聞いたりしていた。もちろん、中学の英語レベルではほとんど理解できなかった（第二言語習得理論では、自分の理解能力をはるかに超えるリスニングを何時間しても効果は非常に小さい）。中学校では英語以外の教科には全く興味がなく、机の上にはいつもアメリカ地図を開いて思いをはせていた。休みの日には、留学の雑誌や広告にある「資料請求券」をせっせとはがきに貼って送り、一番費用がかからない留学斡旋機関を探した。

いよいよ中学二年の後半になり、高校留学するための申込の時期が近づいてきた。親に話して説得しない

といけない。予想通り、一般のサラリーマン家庭で、海外とは無縁の両親からは猛反対にあった。しかし、「アメリカの高校へ行く」という夢は、それまでの「タクシー運転手になる」や「テニス選手になる」という夢とは別格であった。そして、とうとう親が根負けすることとなった。その時の説得に使った文言の一つは、「大学進学にお金がかかるなら、そのお金を高校留学で使ってほしい。高校を卒業したら必ず日本に帰って、働きながら自分で学費を工面するから」だった。

次に説き伏せないといけなかったのは、中学三年の担任の先生だった。もちろん、当時中学校を卒業して直接アメリカの高校に進学するのは大変珍しく、地元の公立中学校では過去に二人いたのみであった。担任の先生もびっくりし、とりあえず日本の高校で一学期を過ごしてから、九月入学のアメリカへ行くようにと勧めたが（今考えると大変理にかなっているが）、それすら当時の私には「時間の無駄」としか思えず頑なに断った。はれて、十五歳の夏に単身でアメリカへ渡った。

## そして今

今、振り返ってみると、その決断がその後の私の人生を大きく変えたと思う。親との約束を守らずにそのままアメリカの大学に進学した。さすがに大学院へは

行かせてもらえなかったもので、大学卒業後は帰国して英語教育の世界で働き、お金を貯めて、三十代半ばで再度アメリカへ渡り大学院へ進学した。中学二年生で抱いた夢を、なりふり構わず追い求めた結果、今の私がここにいると思う。生まれ変わったら同じ人生を歩むかと聞かれたら、そこには疑問を持つが、でも後悔は全くない。

さて、この歳になって「今の夢は？」と聞かれても、当時のような若さ特有の情熱とパワーに満ち溢れた夢は持ち合わせていない。ただ、ささやかな夢でもいいので、それを持つことにより、生活にはりがでて、進むべき方向を示してくれるのではないかと思う。

学生の皆さんには、若い時だからこそ持てる「夢」を持ち、人生に一度は、その夢に向かってなりふり構わず突っ走る経験をしてほしい。1%でも可能性があるのなら、時にはそれに賭ける勇氣も必要であろう。



さくらい しゅうた  
国際日本語教育インスティテュート



## スワヒリ語

### スワヒリ語は意外と身近!?

高村 美也子

#### 一. スワヒリとは

##### なりたち（地域・歴史）

スワヒリとは、アラビア語の「サワーヒル sawahil 海岸」から派生した言葉です。スワヒリ文化・地域は、長年のアラブ・ペルシア人によるインド洋交易によって成立していきました。七世紀末になるとアラブ・ペルシア商人によって東アフリカ沿岸部住民のイスラーム化がはじまりました。アラブ・ペルシア商人たちが滞在した拠点がスワヒリ都市として栄えました。その範囲は、北はスーダンのモガディシオから、南はモザンビークのソファアラまでの約二、九〇〇kmとわれています（Abdul 2002）（図1）。

このように、長年に渡る東アフリカ地元住民とアラブ・ペルシア商人との交流により、言語、文化、イスラームが融合して、スワヒリ文化が成立しました。

#### 二. スワヒリ語とは

スワヒリ語は、東アフリカの複数の国で使



図1. スワヒリ地域

用されています(図二)。使用国は、タンザニア、ケニア、ウガンダ(一部)、ルワンダ(一部)、ブルンディ(一部)、コンゴ民主共和国(一部)、マラウイ(一部)、モザンビーク(一部)です。標準スワヒリ語とされているのは、タンザニアのスワヒリ語です。

スワヒリ語は、アフリカの赤道以南の地域で話されているバントゥ諸語に属する言語です。バントゥ諸語とは、図三の「アフリカ大陸の言語」の二番以降であるサハラ以南の地域で話される言語を指します。

### 実は身近なスワヒリ語

スワヒリ語は、日本ではあまり知られていませんが、実は日本でもスワヒリ語の語彙が使用されています。ディズニー映画でおなじみの「ライオンキング」のキャラクター名の一部、日本国内でエスニック商品が販売されているお店「Malaika(天使)」、歌手のウア(ウビ)(花・殺す)、ゲームのジェンガ(建てる)、富士サファリパークのサファリ(旅)、コーヒーのキリマンジャロコーヒーなどがあります。



図3. アフリカ大陸の言語  
バントゥ諸語使用地域：2番以降であるサハラ以南の地域



図2. スワヒリ語使用地域

### 三、スワヒリ語の特徴

スワヒリ語はどれくらい難しいのか、発音はどうか、文法はどうか、勉強する前は分かりません。スワヒリ語の特徴の中で日本語に類似している点があります。まずは発音です。一部の発音を除けば、スワヒリ語は日本語と同じように子音と母音で構成されているので、日本語話者はスワヒリ語を美しく発音することができます。

次に、その特徴の一つですが、日本語では一本、一冊、一枚など名詞によって個数の数え方が異なります。それと類似した点として、スワヒリ語には名詞によってクラス分類があります。そのクラスによって、接頭辞が変わります。単数・複数でも接頭辞が変わります。例えば、人 (mtu)、人々 (watu) のように変化します。ただし、性別のクラスはなく、男女によって主語や接頭辞が変わることはありません。このクラスは複数あるので、これがスワヒリ語の難しさの要因の一つです。

その他、日本語には、オノマトペの「パラパラ」「ドキドキ」のように同じ音が二回繰り返される特徴があります。スワヒリ語には「ピキピキ (バイク)」「ピリピリ (唐辛子)」など、同じ音が二回繰り返されて形成される語彙が存在する特徴があります。

スワヒリ語の特徴だけをみると難しく感じてしまっていますが、特徴を掴めば、理解できるようになります。

### 四、スワヒリ地域の自然環境

東アフリカの自然環境は多様性に富んでいます。大地溝帯、キリマンジャロ

山、タンガニーカ湖、サヴァンナの大地、そして国立自然公園があります。大地溝帯とは、アフリカの北部から南部に向かって存在する巨大な溝で、中央部に巨大な谷、周囲に高い山や火山が存在します。キリマンジャロ山はアフリカ大陸の最高峰です。タンガニーカ湖は世界二位の水深を誇る湖で、固有の魚が存在します。サヴァンナの大地にこそ国立自然公園があり、野生動物が居住しています。東アフリカの国立自然公園に居住している動物がディズニー映画「ライオンキング」に登場しています。また、タンザニアには七つの世界遺産が存在します。

## おわりに

スワヒリ語は、日本ではまだなじみのない言語ですが、スワヒリ語圏の観光地である自然公園サファリパークの動物の映像は、ときどき日本のテレビで放映されています。スワヒリ地域とは、アフリカの現地の人びととアラブ・ペルシア人との交流、そして各々の文化が融合し、スワヒリ文化が形成されたという特徴があります。また自然環境にはインド洋とサヴァンナの大地、キリマンジャロ山と湖などの存在があります。スワヒリ語から、人びと、文化、自然の多様性を是非学んでみて下さい。



たかむら みやこ  
世界教養学部

# 「夢」にまつわるお話

石田 聖子

吉見 かおる

原 慎之介

マルシャレンコ ヤコブ エリック

それぞれ専門の異なる出版会編集委員四名に「夢」について尋ねてみました！

## 1 子供の頃、あるいは若い時の夢は何でしたか。

吉見 お魚屋さんです。海に面した愛知県蒲郡で生まれたせいかな、小さな頃から魚を見ると（特に水槽に入った食用のお魚）、嬉しくなったり興奮する変わった子どもでした（笑）。両親に竹島水族館によく連れて行ってもらい、海辺にあった真つ赤なタコの形をした滑り台で遊ぶことが大好きでした。近所のスーパーに小さなお魚屋さんがあり、いつも格好よく

魚をさばっている店長のおじさんと顔見知りだったので、「息子さんと結婚したら夢が叶うのかな」と、友達でもないのに勝手に考えていた時もあります。小学二年生頃のことです。

石田 記憶にある限りいちばん幼い頃に将来の夢として思い描いたのは「画家」でした。きれいな色や形を眺めてはあれこれ想像するのが好きな夢見がちな子どもでした。ただ、諸事情により、この夢を追求することは早々に諦めることに。現在、映画の研究をしています。動く絵画のような作品に出会うと胸がときめきます。かつての夢はいまも自分のなか

にあるのだなと感じます。

原 ありきたりですが、プロ野球選手になりたいと思っていました。テレビで中継を見たり、実際に野球場で観戦したりもする中で、プロの選手に憧れたのが小さい頃の夢でした。

マルシャレンコ 僕は○○になりたいという夢は特にありませんでした。ただ、小さい頃から海外旅行が好きで、旅行先で様々な人に出会ったのが楽しかったもので、将来的には「国境を超えた人生を送りたいな」と思っていました。もちろん、その当時は「国境を超えた人生」などのような格好いい表現ではなく、「色々な国へ行ってみたい！」という単純な気持ちでしたがね（笑）。

## 2 大人になるにつれて、その夢はどうなりましたか。

原 小学生のころに所属していた野球チームで早々に現実を知り、プロにはなれないかと諦めてしまいました（笑）。チーム内でも自分より上手な人が何人もいるのに、市内、県内、全国となると何

人いて、その中でプロになれるのは……と考えたときに、現実的ではないと思い知りました。

**石田** 画家の夢が潰えた小学高学年期、テレビで通訳の存在を知って「他の人がわからない言語を操るなんてカッコいい！」と感動したことをきっかけに、外国語を通じて社会の役に立ちたいと願うようになりました。そこから何年もかけてどの言語を専攻するか迷った挙句、メジャーすぎずマイナーすぎず仕事につながりそうなイタリア語を学ぶことに決め、現在に至ります。

**マルシャレンコ** まあ、かなり抽象的な夢でしたが、自分としては叶ったのではないかなと思っています。十六年前から日本に住んでいるのですが、日本の色々なところだけではなく、周辺の国や地域にも数多く行ったことがあり、人生を満喫しています。また、本学自体も大変国際的、かつ多様な環境として、学内でも「異文化交流」を体験することができますので、毎日それを楽しんでいます。

**吉見** 小学校高学年になる頃には、お魚

屋さんの夢などきれいさっぱり考えなくなりしました。それでも、スーパーやお寿司屋さんにある水槽に入ったお魚を見ると、今でも何ともいえない癒しを感じます。

### 3 前から抱いていた「夢」だった

わけではないのですが、  
でも実際に実現した時に  
「夢」だったと気づいた  
エピソード等がありますか。

**マルシャレンコ** さっきの話と重なってしまいましたが、自分にとっての「日本」はそうだったんじゃないかなと思っています。というのも私にとつての日本とはずっと前から憧れの国だったわけではありません。ところが、大学に入って日本語日本文化を学んでみたら、この国に関心が湧き、やっぱり行ってみたいと思うようになりました。その当時、まさか日本に移住することになるとは思っていませんでした！

**石田** 教員になることは一切考えていませんでした。そうではなく、通訳や翻訳

として外国語にかかわることを夢見ていました。しかし、思いもよらない事件や偶然が重なった結果、いつしか大学教員への道を歩むことに。まったくの想定外でしたが、いまでは、教員として、外国語を学ぶ喜びを学生と共有できることは夢のようにすばらしいと感じています。

**原** スポーツの話が続いてしまいましたが、野球を辞めた後に武道を始め、高校生の時には空手道部に所属していました。幸運にも全国大会に出場できたのですが、会場の日本武道館に入ったときにとっても感動し、この舞台に立つことは一つの夢だったのかなと思いました。

**吉見** 高校時代、大学生時代の自分を振り返ると、その時をただ必死に生きていた、そんな気がします。一つ言えるのは、私は先生方到大変恵まれました。幼稚園時代から（幼稚園で出るお弁当がどうにも苦手で、痛い思い出です）小学校、中学校、高校、大学時代まで、お世話になった先生方のお名前を今でも覚えています。出会った先生方の姿を通して、自然と教える仕事の魅力を感じるように

なったのかもしれませんが。

#### 4 今度は少し変わった質問をさせてください。

ずっと夢だと思っていたけれど、叶わなかった時に、逆にそれでよかったと「安心」したりしたことはありますか。

吉見 お魚屋さんの奥さんになっていたら、毎朝ものすごく早く起きなければいけなかったので、叶わなくてよかったです（笑）。

マルシャレンコ 夢のほどではないのですが、人生プランが変わってしまい、本当によかったと思うことがあります。出身国ポーランドにある企業で働いていましたが、大変つまらない仕事でした（笑）。「これが俺の人生か?！」と焦って一年足らずで仕事を辞めて再び日本に行くことを決心しました。達成感を覚える楽しい仕事だったのなら、今の自分がないのにつまらない仕事に「恵まれて」よかったな〜！

石田 大学生の頃、将来はイタリアで暮

らしたいと思っていました。実際、約5年にわたるイタリア留学を通じて現地での生活が体験できたため、夢は半分かなったともいえます。それでも、日本で就職し日本に拠点を置いて生活することを決めたことで、大切な家族のそばにいられる安心感を手に入れられたことは、結果としてよかったと考えています。

原 質問とは少しずれてしまうのですが、大学生のときに就職活動をしていて、ある企業から内定をいただきました。最終的には辞退して大学院に進む道を選んだのですが、今思い返しても企業人の方に向いていないと思うので、その意味では安心したと言えるかもしれません。

#### 5 将来の自分を想像してみると、どのような夢を抱いていますか。

石田 外国語を職業にすることで、自分の夢は実現できたと思っています。しかしそんな自分の夢を実現するために、これまで大勢の方からのサポートを受け、多くの人に迷惑をかけてきました。恩返しのためにも、これから夢を実現しよう

とする学生の皆さんのサポートをするのが今後のわたしの夢です。

原 漠然と、人の役に立てることをしたいという夢はあります。教育面では私の講義やゼミを取ってよかったと思ってもらえる学生を一人でも多く増やしたいですし、研究者としてはやはり社会に貢献できるように研究をしたいと考えています。

マルシャレンコ 人生百年時代と言われる現在ですが、やっぱり今後「教員」や「研究者」としてだけではなく、「人間」としても学ぶことが多々あるはずですし抽象的になってしまいましたが、色んな意味で少しずつ成長していきたいなと思いますね。

吉見 年を重ねても、心のドアをいつも開けていられるそんな人間であれたらなと思います。今の夢は、ダニエル・バレンボイムがウェスト・イースタン・ディヴァン・オーケストラで指揮をするベートーベンの第九を聴くことです。

## 6 最後に学生の皆さんに「夢」について一言をぜひお願いします。

吉見「夢」は「憧れ」とも言い換えられます。何かに憧れること、誰かに惹かれることは、素晴らしい経験です。N U F S の学生であれば、きっとそのような経験と出会えるはずです。心に響く何かを感じたら、勇気をもってその物事に近づいてみてください。そこから何か良いことが始まるかもしれません。

石田 夢は、人生の道しるべのようなものだと思います。そのままのかたちで実現できなくても、はるかあなたに輝く星のように「夢」を掲げて、それに向かって進んでいけば、きっと充実した人生が送れるはず。可能性に満ちた学生の皆さんにはぜひ自由に夢を思い描いてほしいと思います。（ちなみに、黒澤明監督の映画『夢』は、「夢」をテーマとした素晴らしい作品でおすすです！）

原 今の僕が皆さんに夢について語れる立場かどうかはわかりませんが、夢や目標を持って大学生活を過ごすことはとても重要だと思います。今しかできないことはたくさんあると思いますが、目先のやりたいことだけでなく、将来を見据えたことにも取り組んでみてください。マルシヤレンコ まずは、自分自身のポテンシャルを信じて、夢の実現に向けて頑張つてほしいです。もちろん、いくら努力しても叶わない夢だつてありますが、やってみないとわかりません。ですから、結果にこだわらず「とにかくやってみよう！」と。その夢が叶えば一番いいのですが、叶わなかったとしても、その経験を将来の自分にはどう役立てていくかを考えながら、前に進んでいきましょう。

いしだ さとこ

世界教養学部・世界教養学科

よしみ かおる

現代国際学部・現代英語学科

はらしんのすけ

現代国際学部・グローバルビジネス学科

まるしやれんこやこぶえりつく

世界教養学部・国際日本学科

# 「選ん読（えらんどく）」のすすめ

土橋 由明

私は本を選ぶことの方が、読むこと以上に好きかもしれません。「本は読んでなんぼ」ということは、もちろん理解しています。しかし一方で、「選んでなんぼ」ということも同じくらい大切だと感じています。誰にも邪魔されず、感覚を研ぎ澄まして本棚の前に立ち、まるで試合に臨むかのように真剣に本と向き合い、自分の求める一冊を選ぶあの瞬間が、やはり私は好きです。そうして本と出合ったとき、まだ見ぬ世界への期待が膨らむその瞬間、私の胸も高鳴ります。

本能のまま直感で本を選ぶこともあれば、その本が自分の心情や考えとどのように結びつくのかを考えた末に選ぶこともあります。「なぜこの本を選ぼうとしているのか」と向き合うことは、ひいては自分自身と向き合い、自己発見にもつながります。その選んだ本がそばにあるだけで、いつか人生の水先

案内人としての役割を果たしてくれることもあります。本を選ぶという行為は、人生の様々な場面で、実は大きな力を私に与えてくれています。

だから、読むタイミングを逃して「積ん読（つんどく）」状態になっていたとしても、動じません。それは「積ん読」ではなく、「選ん読（えらんどく）」だと考えているからです。「積ん読」は、本をそのまま放置しているという、どちらかといえばややネガティブな印象を伴う言葉ですが、「選ん読」は、本を選んだときの思いや熱量を、そのまま真空パックで保存しておくようなものであり、いつかその時が来たときのために、自分のために、未来のために本を「選んでおく」ことを意味しています。

たとえ本棚に身を潜めたままでも、目と手の届くところにあることで、選んだときの「過去の私」が「今の私」に語りかけてくれるように感じます。そして、今は読まなくても、そうした本たちは、そつとやさしく、選んだときの思いや私とのつながりを思い出させてくれます。「そこに本がある」こと、それだけで充分なのです。

# 「レポートの書き方」⑩

「研究レポート（卒業論文）の書き方（2）」

真田 郷史

前回から、言葉の本来の意味である「報告（書）」という性格をもった「レポート（report）」の、大学（学部）での代  
表例として、「研究レポート（卒業論文）」  
を取り上げています。今回は、その2回  
目です。広い意味での「研究レポート」  
の中には、「実験レポート」や「調査レ  
ポート」等のように、客観的事実に基づ  
くデータを集めて、そこから何かしらの  
結論を導き出すといったタイプのものも  
ありますが、ここで話したいのは、主  
に文献研究を中心とした文学部系の「卒  
業論文の書き方」についてです。学会誌  
などに掲載・発表されるこの分野の専門  
的な研究論文では、ある特定の著作を研

究対象として、その作品（場合によつて  
は、その中のある箇所）をどのように読  
み、どう理解すべきかを論じるのが一般  
的です。つまり、研究対象とした作品の  
「解釈」ということになるわけですが、「解  
釈」とは「これはこう読むべきだ。こう  
読むのが正しい」と主張することです。か  
ら、本質的には一種の意見文（主張文）  
です。「卒業論文」の場合も同様で、曲  
がりなりにも「論文」と言う以上、そこ  
には書き手の「意見・主張」が論述とい  
う形で書かれているはずで、であるとし  
て結論（自分なりの意見）をどのように  
文章化すればよいのかという点で、その

分野での専門的な研究論文は、卒業論文  
を書く上での優れた「お手本」になり得  
るわけです。分量の面でも、学会での発  
表や機関誌への投稿の場合、論文1本の  
分量は400字詰原稿用紙に換算して30  
枚〜50枚程度ですから、これは皆さんの  
「卒業論文」とほぼ同じです。つまり、  
前回お話ししたように、敷地として用意さ  
れた30坪の土地に、どのような家なら建  
てられるかといった構想問題についても、  
学会誌などに掲載された研究論文は、卒  
業論文を書く際の「お手本」になるとい  
うことです。ですから、卒業論文に取り  
掛かるに当たって、まずは自分が研究（勉  
強）したいと思う分野の、さらに言えば、  
その中で自分が取り上げたいと思うテー  
マについて、これまで誰がどういう論文  
を発表しているかを調べることから始め  
ます。これが（研究の）第一歩です。調  
べるには図書館の検索システムを利用す  
るのが一般的ですが、分からなければ指  
導教員に相談してみてください。検索対象  
となるのは、その分野の学会誌（機関誌）  
や当該の研究者がいる大学の研究紀要な

のです。本学の図書館が所蔵していても、他大学の図書館から取り寄せることも可能です。

こうした準備作業と同時に（並行して）、研究テーマの「絞り込み」について検討していきます。前回もお話したように、予定の分量（枚数）に合わせてテーマを絞り込んでいくことは、必須です。とかく「大風呂敷」（大きなテーマ）になり勝ちですから、注意して下さい。先ほど、専門家による研究論文をお手本にと言いましたが、プロの場合、論文の入り口でテーマをかなり絞り込んでいるのが普通です。時に「重箱の隅をつつくような」と批判されることもあります。それほど絞り込まないと「まともな論文は書けない」というのも事実なのです。入り口でどれほど絞り込んでおいても、議論を展開させていく中で、話がどんどん膨らんでくるからです。また、そのように議論が膨らんでいなくては、論文にはならないとも言えます。この点については、後ほど改めてお話しします。もちろん、卒業論文の場合、テ

マの絞り込みについて、そこまで神経質になる必要はありません。それでも、全体の分量に見合うテーマの大きさがあ、ということ意識しておいて下さい。

さて、研究しようとするテーマがある程度絞り込めたら、次に、そのテーマの下で何をどう考えたいのか、どのような疑問を抱き、それにどうアプローチして、どういう解決を想定しているのか、といった具合に自分の中で「自問自答」します。もちろん、まだ研究（勉強）を始めていない段階ですから、飽くまでも、その時点での「予定」とか「予想」ということで構いません。しかし、結論は「未確定」であるとしても、研究の「行先（目的）」を決めておかなくては、そもそも研究自体が始まりません。「出たとこ勝負、行き当たりばったり」では困ります。何にせよ、「予定を立てる」ことは大切です。ここで「予定を立てる」というのは、卒業論文で取り上げる「問題」とその問題にどうアプローチするかを、十分に考えておくということです。言い換えれば、問題設定と研究方法の検討とい

うことです。先取りして言えば、ここでの考察は、実際の卒業論文の第1章（序論）において述べられることになりますから、ゆめ疎かにはできないということですね。

「問題設定」については、これまでも何度かお話ししてきましたが、本質的に重要なことは、書き手（皆さん）自身が「問題意識を持つ」ということです。卒業論文は他の授業レポートと違って、自分でテーマを見つけて、その中から何を問題（課題）として取り上げるのか、レポート作成の出発点から書き手の主体性が要求されます。その時点で手を抜いてしまったら、出来上がる作品は形だけのものになってしまいます。ですから、最初が肝心です。じつくりと（十分に時間をかけて）考えて下さい。自分が関心を持って選んだテーマの下で、「素朴な疑問」「気になること」「知りたいこと」、そんな「種」を自分自身の心？（頭？）の中から探し出して下さい。何か見つかったら、その種を発芽させ生長させて、言葉にしていきます。疑問文を作ってみ

ましよう。「○○とはどういうことか？」

「○○は××であると言えるのか？」「○○

○はなぜ××なのか？」「どうしたら○

○は解決できるのか？」等々。色んな形

の疑問文がありますが、取り敢えず、ど

れでも構いません。(いづれ、最終的な

問題提起の形に落とし込んでいくことにな

ります。) 一つの疑問文が生まれたら、

その疑問(問い)に対する答えを、自分

で考えてみます。正解にたどり着く必要

はありません。例えば、どんな「答え」

が予想されるかとか、「答え」を導き出

すためには何を知らなければならないの

かとか、そんな風に最初の「疑問」をめぐ

って考えていきます。すると、この疑問

に答えるのはとても大変だ(誰にも答

えられないだろう)とか、逆に、この疑

問に対する答えはこれ以外にはあり得な

いだろう(誰にとってもそれは明白だ)

とか、そんなことが見えてくるかも知れ

ません。もしそうなら、その疑問文は卒

業論文の問題設定としては相応しくな

い、ということ。理由は分かります

ね。誰にも答えられない問いや、誰もが

当たり前に思う答えでは、研究してその  
成果を主張する意味がないからです。要  
するに、研究すれば何かしらの答えにた  
どり着けるような問い、しかし研究しな  
ければ答えが得られないような問いこそ  
が、卒業論文の問題設定には相応しいわ  
けです。そのような問い(疑問)を、自  
分の中から見つけて下さい。

適切な問いを立てる(疑問文を作る)

ことができたなら、次は、この問いに正し

く答えるための道筋(方法)を考えます。

何が分かれば答えを導き出すことができ

るのか。先ほど述べた「問いへのアプロ

チ」ということです。一般にアプロ

チの仕方は、研究領域やテーマの選び方

によって、さまざまに異なります。しかし、

具体的にどのようなアプローチを採るに

せよ、研究の方法論として基本的な部分

は共通しています。それは、「最初の問

い」を、できるだけ細かく「小さな問い」

に分けていくこと、です。なぜなら、人

間の脳は「より大きな問題・より複雑な

問題」を一気に考えるのが苦手、だから

です。(ひょっとしたら、コンピューター

も同じ、なのかも知れませんが……。)  
いづれにせよ、われわれがものを考える  
とき、可能なかぎり小さく・単純な問題  
の方が間違いが少ない、ということは感  
覚的に分かりますね。○○××よりも、  
×××の方が答えやすい、ということ。で  
す。というわけで、どんな研究においても、  
問題を小分けにして考察していく、とい

うのが基本戦略になります。これを「問

題の分析」と言います。卒業論文におい

ても、この点は変わりありません。最初

に立てられた問い(問題設定)に答える

ために、これを幾つかの「より小さな問

い」に分析していきます。つまり、最初

の問いの中に、より小さな問いが幾つか

含まれているので、それを洗い出してい

くという作業です。例えば、「美味しい

カレーはどうやって作る?」という問い

の中には、「食材は何を使う?」「調理方

法は?」といった問いが含まれていま

す。これらの問いに答えなければ、最初

の問いには答えられません。前者から後

者を洗い出す作業が、問いの分析です。

(因みに、「食材は何を使う」という問い

の中には、「肉類は? (ビーフ? ポーク? チキン?……)」「野菜は? (じゃがいも? 玉ねぎ? 人参?……)」「香料は?」といった、さらに小さな問いが含まれています。)では、どこまで問いを細かく分けていけばよいのかという話になりますが、卒業論文の場合は、全体の分量から言って3つ〜5つくらいが妥当かと思われます。と言うのも、分析後の1つの(小さな)問いを考察するのに、少なくとも2000字くらいは必要だからです。全体の分量を12000字(4000字詰原稿用紙30枚)とすると、序論〜本論〜結論のバランスを考えれば、大体これくらいの数(3〜5)になるのではということ。もちろん、最初の問い(問題設定)の内容や全体の分量によっては、この数は変わり得るわけですが、現実問題としてあまり大きく外れることはないでしょう。むしろ重要なのは、分析後の問いの数ではなく、どのように分析するかという「切り分け方」の方です。分析という方法が、問いの考察にとって有効なものでなければなりません。

せん。先ほど、考察のさなか議論が膨らむという話をしましたが、カレーの例からも分かるように、分析はさらなる分析を呼び、考察すべき論点が増えていく(その分、考察がより深まる)、ということがあります。そのような問いの切り分け方が、考察にとって有効な分析だということです。この点は、次回、もう一度考えてみたいと思います。

さて、これらの「小さな問い」のそれぞれが、第2章(本論)の各節に相当するわけです。つまり、「最初の問い」から分析によって洗い出した「小さな問い」を一つずつ考察していった、その結果として「最初の問い」に対する答えを導き出す、というのが第2章(本論)の内容になります。前回お話しした「設計図」について、少しはイメージできたでしょうか。まず問いを立て(問題設定)、その問いをさらに幾つかの問いに分析します。ここまですが、第1章(序論)に書かれるべき内容になります。続いて、分析によって洗い出された各問いを、それぞれ「節に分けて」一つずつ考察していき

ます。その考察の全体から、最初の問いに対する「答え」がどのように導きだされるのか、そこまですが第2章(本論)に書かれるべき内容です。そして最後に、一連の考察を概観して全体をまとめます。それが、第3章(結論)の内容です。今回は、分析と考察の要点について、さらに検討していきます。

どうやら、予定の紙数が尽きたようです。ではまた、お会いしましょう。



さなだ さとし  
名古屋外国語大学名誉教授

NIFS & NUAS

## 読書コメント大賞

…読んで書いてつながろう…

「読書コメント大賞」は、これまで出会えていなかった仲間と読書の楽しみを共有してもらうために創設されました。印象に残った本の感想や批評をコメント形式で伝えるものです。

大学生活で大切なのは、正解のない問いに自分自身で答えを見つかけようとする。知性や感性に磨きをかけて、少しでも大きな人間になろうと努力すること。新たな本や人との出会いは、まさにそのための第一歩です。

八回目の開催となった今回の応募作品総数は百六十点。その中大賞をはじめ受賞作品十一点をここに紹介します。学生、教職員等による一般投票で一位となった作品は「いいね！賞」（一般投票）

として表彰しました。コメントされている本は中央図書館にすべて所蔵があります。コメントを読んで気になった本があったら、是非手に取って読んでみてください。そして、次はあなたが、読んで、書いて、つなげる番です。

**大賞**

『安楽死を遂げるまで』

the road to euthanasia

宮下洋一 著

人生をマラソンに例える人は多いだろう。誕生をスタート地点とするなら、ゴールは死だ。人生という名のマラソン

を走る私たちは、本来ゴールテープがどこにあるのかを知ることができない。この本はゴールテープの位置を決め、自らの手で切った人たちの話だ。

様々な苦痛を抱える人が自殺ほう助団体を訪ねる。その団体の代表は彼らの死に際に「美しい」という言葉を用いた。しかし、本を読む私の目に浮かんだ涙は純粹なやるせなさからだった。残された選択肢は死のみという彼らの覚悟に対して、傍迷惑にもまだ生きていた方が幸せだったかもしれないとそう考えてしまったのだ。こんな生に対するバイアスが私を含めた、死より辛い苦痛を感じたことのない人間に憑りついていけるのだろうか。重いからこそ日常ではあまり考えない「命」。人生百年時代、病棟で寝たきりになるかもしれない我々に安楽死制度は重要なテーマであるということを目ざんに知っていただきたい。

（和毛／外大・グローバルビジネス）

最優秀賞

『キッチン』

吉本ばなな 著

なぜこの本のタイトルは「キッチン」なのだろうか。

わたしはこの問いを常に考えながら物語を読み進めていた。

まず、これほど繊細かつエネルギーを感じられる文章には今まで出会ったことがなかった。家族、愛、孤独、やさしさ。そんな単語だけでは言い表せないほど、この物語は透き通っていて、美しく、そしてあたたかかった。「この人の文章は水のようにわたしの中に入ってきて、やがて血液となって全身をめぐるっていく」と思ったほどに言葉の全てが自分の一部になるような感覚だった。

人間はすぐに他人との関係に名前を付けたがる。自分と相手との関係に名前が無いと不安になってしまうのだ。しかし、この本におけるみかげと雄一の「家族でも恋人でもない関係」が生み出す安らぎに触れて、名前のない関係は悪いことで

はない、と思えた。タイトルの「キッチン」とは何か。その答えを見つけた時、あなたはこの物語をより身近に感じられるはずだ。

(CoCo／学芸大・ファッション造形)

図書館特別賞

『おちくぼ姫』

田辺聖子 著

いつの時代も乙女の憧れは、ピンチに必ず駆けつけてくれる頼りがいある王子様。そんな夢の国にしかないいつて？いいえ、日本文学を侮る勿れ。日本にもいるんです。しかも平安時代に。白馬ではなく牛車に乗った、王子様ではなく少将ですけれど、聡明な貴公子であること請け負い。

本作は「日本版シンデレラ」とも呼ばれる古典『落窪物語』を原典とする、継子いじめの物語。愛らしい姫様が麗しの貴公子と幸せになる、まさにシンデレラストーリー。加えて、シンデレラでは描

かれない「めでたしめでたし」のその先、少将からの逆襲まで描かれていて爽快感マックスです。

難しい古典作品を、誰でも楽しめる現代文学に作り替えてくださったのが故・田辺聖子先生。高校時代に古典が苦手だった人でも、きつと楽しめます。

「ボーダーレス」の言葉のもとに、国境を越え、さまざまな作品に出会える昨今。あえて「時代」を超えて、千年前の日本を覗いてみませんか。

(阿漕／外大・国際日本)

出版会賞

『目の見えない人は』

世界をどう見ているのか

伊藤亜紗 著

—— 知ることは変身することである ——  
確信とともにこう語る著者は、視覚障害者との対話を通して想像力を働かせ、彼らの見ている世界を見ようと試みる。それは例えるならば、椅子の四本脚のう

ちの一本がないという「欠如」ではなく、三本脚が作る「全体」の世界。

見えるからこそ、死角ができる。見えたイメージに固執してしまう。見える人が実は見えていないかもしれないこと、見えない人の方が実は柔軟に見ているのかもしれないこと――。

見える人として生きてきた私の世界の捉え方が根底から揺れ動く。見えることに胡坐をかいて、本当に「見る」ことを避けてきたのではないか。想像力を伴って知ろうとすることを放棄してきたのではないか。

ぐらぐらと揺れる視界の中で、世界を捉え直す。それこそが、異文化理解への第一歩だと信じて読み進める。思索の止まらなくなる読書体験を、あなたにも。

(Y/A/外大・国際日本)

### 優秀賞

『硫黄島上陸…友軍ハ地下ニ在リ』

酒井聡平 著

日本は良い意味でも悪い意味でも平和ボケした国である。この本にはこのことを本当に実感させられた。政府は都合の悪いことは隠蔽し、社会は見えて見ぬふり。被害者など一部の人が声を上げるが誰も見向きもしない。戦争もその一つである。

来年八月、戦後八十年目を迎え、戦争は歴史上の出来事だと思っている若者も少なくはない。私もその一人であった。しかし、終わったことだと学校で知識を学ぶだけで本当によいのだろうか。

太平洋戦争末期で前線となった硫黄島での戦死者は二万人。うち半数が今もなお見つからない。けれど、遺骨収集団の派遣は減る一方。死を知りながらも国や家族のために戦った勇士を忘れ去ってしまうことほど虚しく悲しい終わりはない。ある消防士は「遺族にとって何も帰らないことほどつらいことはない」といった。どんなに小さな声でも一人一人が声

を上げること、家族のもとに帰ることができ報われる人がいるのではないだろうか。

(雲/外大・現代英語)

### 優秀賞

『舟を編む』

三浦しをん 著

「辞書は言葉の海を渡る舟だ」この言葉にはっとした。私は普段何気なく発している言葉の意味や使い方を正しく理解しているのだろうか。急に自信が無くなり同時に恥ずかしくなった。

近年では毎年のように新しい言葉が生まれては流行しており、いわば言葉は常に変化していく生き物の様である。だが、いつの時代も人に何かを「伝える」ための手段であったことだけは変わらないだろう。例えば「やばい」とはなにがどのように「やばい」のだろうか。相手にきちんと「伝える」ことの重要性は外国語を学んでいる私にとって、心にとめてお

くべきことだろう。と、考えるきつかけとなったのは十五年もの間、辞書の編纂に奮闘し続けた玄武書房辞書編集部の人たちだ。彼らの性格は面白いほど違っているが、「舟」の完成という同じ目標がある。度々刊行が頓挫しそうになるのだが、その度に地道な作業と情熱で持ちこたえた。私は彼らの編んだ舟に乗りたいたいから思えた。

(るな／外大・フランス語)

#### 優秀賞

##### 『みどりいせき』

大田ステファニー 歓人 著

表紙を開いた瞬間から今までずっと悔しさが消えない。私には、こんなに人を惹きつける言葉を紡ぐ才能がない。

「みどりいせき」。まるで危険な薬物みたいな、強烈な中毒性のある小説だった。最近よく聞く闇バイト。私には無関係で周りもたぶんそんなものには手を染めてないと思う。主人公の桃瀬もきつと同

じだったはずだ。

悪いことをするときの背徳感がかえって高揚感を生む瞬間。けれど、ふと湧き上がるこれでもいいのかという不安と焦燥感。そんな感覚が私にはわかる。桃瀬はどこか私自身と重なるところがあるのかもしれない。

この本の怖いところはそれだ。ずっと大人の、それこそこの本に出てくる「チル」や「キャパい」みたいな若者言葉の意味をいちいち調べないといいていけな人たちにはわからないかもしれないけれど、それがわかる私のような若者にとっては、これは他人事ではない。一度読んで確かめてみてほしい。

(ぶわ／外大・国際日本)

#### 優秀賞

##### 『汝、星の』とく』

風良ゆう 著

もしあなたが妻なら、夫の浮気を承認できますか？

この本は「月に一度、私の夫は恋人に会いに行く」という衝撃的な書き出しから始まる。不穏な空気を纏って始まり、儚く星のように美しい愛で幕を閉じる。

風良ゆうさんの『汝、星の如く』に出会うまで愛とは何か、よく分かっていなかった。この物語には沢山の、様々な形をした愛が詰め込まれている。登場人物のほとんどは血が繋がっていないのにも関わらず、だ。愛とは、人生とは、血の繋がりの有無だけなのか？ 出会いと別れ、その全てを愛しく抱きしめたような作品だ。

瀬戸内海での閉ざされた島での暮らしとそこで悩まされる人間関係の窮屈さ、対照的に目の前に広がる海の開放感、自由な思想。島と海の二つから織りなされるそのドラマに、スマホの存在を忘れるほど釘付けになった。生きることの自由さと不自由さ、充実と欠落、この作品からしか得られない感情に、十代のうちに出会えたことを幸せに思う。

(book mark／外大・国際日本)

優秀賞

『賭博者』

フョードル・ドストエフスキー 著

亀山郁夫 訳

愛、憎悪、嘲り、喜び、怒り、悲しみ、錯綜、狂気。人間の欲望が渦巻く舞台の名は、ルーレットテンブルグ（ルーレットの町）。いっそ実在したのではないかと思えるほど人間味に溢れる登場人物たちは、衝動にかられ、刹那的に行動する。醜くも輝かしい彼らの在り方は、引き込まれるほどに魅力的だ。その上、まるでその場にいるかと錯覚するような濃密なカジノの描写は、さらに強く、人間の欲望を私たちの心に刻み込む。そして物語は、遺産の被相続人であり、危篤状態のはずだったアントニーダおばあさんの登場から一気に加速し、事態はまさしく混沌へと突き進む。二転三転する展開はまさに人生のように予測不能で、決して目を離すことができない。人間の欲望は斯くも複雑で、面白く、終わることを知らない、この作品は私に思い知らせてく

れた。金に群がり、賭博に溺れ、欲望と運命に翻弄される人間の面白おかしさをぜひご照覧いただきたい。

（こっぺばん75／外大・世界教養）

優秀賞

『世界を無視しない大人になるために…  
僕がアフリカで見た「本当の」国際支援』

原貫太 著

「僕は、世界を無視しない大人になりたい。」今までこの言葉に、何度も戻ってきた。原貫太さんが本書を執筆したのは大学四年生の時である。アフリカの子ども兵は、戦うことしか教えられてこなかった。小型武器を握りしめた過去の記憶を内に抱え、連続性の中で生きる。子どもは「消耗品」であり、国際社会は正当化し続けているのか。言語化すること、をためらうほどの光景と、原さんのことを追いつけながら、世界の不条理の中にある自分を少し外から捉えた。私は初めて最貧国と呼ばれる国を訪れた後、張り

裂けそうな感情を消化しきれないまま、悶々とした想いを抱えていた。その答えを見つめるように、四年間の学びと向き合ってきた。平和ボケしたここにいると、「世界を無視しないこと」を内側で肯定し続けてくれる何かを探したくなる。たまたまここで生きて、大学という宝箱で学ぶ特権を得た私は、確かにある限りなく小さな声に耳を傾けられる大人でありたい。

（ポーベンニャン／外大・現代英語）

いいね！賞（一般投票）

『人魚の眠る家』

東野圭吾 著

子供の脳死、臓器提供といった重いテーマだったが、自分だったらどうするかと非常に考えさせられた。目を覚まさない愛娘を、機械を使用して動かし、満足気に自慢する母の行為を「母の狂った愛情」と帯紙では表現されているが、私には到底狂っているとは思えなかった。例えば目を覚ます可能性が限りなく〇％に

近くとも、呼吸している娘を死んでいるとは思えないだろう。また、頭ではわかっていても、自身の心が「目を覚ますのではないか」という希望を手放せないでいるだろう。娘が目を覚ました時に他の子達と遜色なく動けるように、と願って諦めない母の行為は、紛れもなく誰にも否定できない真の愛情に違いない。ドナーを待つ子供らのために臓器提供を選択すべきだ、なんて他人事のような声はかけられない。人の死や愛情、駆け巡る利己的な思考と世論としての「善」に阻まれながら動く登場人物らの心情がともりアルな作品だった。

(chaoyin／外大・英米語)

## 学生選書

受賞者のみなさんには副賞として、読みたい本や読書の楽しみを共有したい本を図書館の所蔵用として書店で選んでもらいました。選んだ本は、最優先で借りて読むことができますの特典があります。今回は約四十冊の本を受け入れました。分野はさまざま、同世代が選んだ本を是非手に取ってみてください。また違う世界が広がること間違いありません。

図書館では受賞作品の発表後、二階テーマ展示コーナーで受賞した本をコメントとともに展示、その後選書してもらった本も展示しています。図書館ウェブサイトにて過去分も確認できますので、是非アクセスしてみてください。

受賞作品（第一回～第七回）は

コチラから↓



## 夢の中で会う

### 出版会から

の鳥が止まり木に足をかけてピイと鳴いたり。

昨年、アジアの女性として初めてノーベル文学賞を受賞したハン・ガンですが、その文学は「歴史的トラウマに立ち向かい、人間の生命のよろさを浮き彫りにした詩的散文」と評されました。代表作『少年が来る』『別れを告げない』では光州事件や済州島の大虐殺（四・三事件）が描かれます。過去の時間や死者は物語に織り込まれ、静かな迫力をたたえています。

今回の PLAZZA の特集テーマ「夢と出会う」を文字で見たとときに頭に浮かんだのは、将来の「夢」ではなく、寝ているときに見る「夢」のほうでした。しかも亡き人たちが登場する夢。前途洋々たる学生さんに贈る言葉を選ぶようにしたはずなのに、いきなりあちらの世界の人たちのことを書いてすみません。

たぶん「夢」という言葉を「死者」と結び付けてしまったのは、この春韓国の作家、ハン・ガンの作品に触れたことが原因だと思っています。

ハン・ガンの小説にはよく死者が出てきます。亡くなった先輩が訪ねてきて一緒にお茶を飲んだり、死んだはず

十二歳で光州事件の写真集を見てからずっと「人間はなぜこれほど暴力的なのか？」それと同時になぜ「これほどの圧倒的な暴力に真っ向から立ち向かうことができるのか」と問い続けてきたハン・ガン。「死者」がその小説の中に登場する理由を受賞講演で、こんなふうに説明しました。「人間の残

酷さと尊厳の間」にある、「この二つの崖をむすぶ存在不可能な空中の道を進むためには、死者たちの助けが必要だった」（講演の引用は斎藤真理子さんの翻訳を参考にしました）。

ハン・ガンの作品に触れてわたしはたぶん救われたのだと思います。失った人や時間は永遠に戻らないと思っていたけれど、もしかしたらそうではないかもしれない。ハン・ガンはとつもない暴力を生み出すことのある人間という生き物を、それでも見捨てず肯定する方法として死者を描いたのではないか。わたしの夢に死者が登場するのも、わたしが意識下でこの人生を投げ捨てないで生き抜こうとしているからではないか。

将来の「夢」と寝ているときに見る「夢」が同じ単語なのには、深い意味があるような気がしてなりません。日々の時間が意識的に、無意識的に重なっていくことで、未来の夢と希望も見えてくる。そんなことを中年を卒業するこの歳になって考えています。

## 2024年度貸出ランキング

### ■図書編■

| 順位 | 貸出回数 | 請求番号        | 書 名                                                                                                              |
|----|------|-------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 29   | 833/Kon     | ジーニアス英和辞典 / 小西友七, 南出康世編集主幹. — 第3版. — 大修館書店, 2001.11.                                                             |
| 2  | 27   | TOEIC/10    | 公式 TOEIC listening & reading 問題集 / ETS 著 ; 10. — 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2023.10.                                     |
| 3  | 24   | 131/Nem     | ソクラテスからの質問 : 「価値は人それぞれ」でいいのか / 根無一信著. — 名古屋外国語大学出版会, 2022.8.                                                     |
| 3  | 24   | 913.6/Uke/1 | 変な家 / 雨穴著. — 飛鳥新社, 2021.7.                                                                                       |
| 5  | 22   | 165/Nem     | はじめての比較宗教学 : なぜ「今日はツイている」のか / 根無一信著. — 名古屋外国語大学出版会, 2023.9.                                                      |
| 6  | 20   | TOEIC/2     | 公式 TOEIC listening & reading トレーニング 2 / ETS 著 ; リーディング編. — 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2023.12.                           |
| 7  | 19   | 913.6/Miy   | 成瀬は天下を取りにいく / 宮島未奈著. — 新潮社, 2023.3.                                                                              |
| 7  | 19   | TOEIC/2     | 公式 TOEIC listening & reading トレーニング 2 / ETS 著 ; リスニング編. — 国際ビジネスコミュニケーション協会, 2023.12.                            |
| 9  | 18   | 913.6/Uke   | 変な絵 / 雨穴著. — 双葉社, 2022.10.                                                                                       |
| 10 | 17   | 835/Wat     | 表現のための実践ロイヤル英文法 = The royal English grammar for practical expressiveness / 網貴陽, マーク・ピーターセン共著. — [旺文社], [2011.9]. |

1位は『ジーニアス英和辞典』。TOEIC 関連本も利用が多いですね。必要に迫られての利用が多い中、読み物系3冊(3, 7, 9位)のランクインが光ります。この3冊は2024年ベストセラーTOP10(トーハン調べ)にも入っています。

### ■視聴覚資料編■

| 順位 | 貸出回数 | 請求番号            | 書 名                                                                                                                                                                                          |
|----|------|-----------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 1  | 48   | 778.77/Rim/BD   | リメンバー・ミー=Coco [映像資料: BD, DVD 本編約105分] / リー・アंकリッチ監督・原案; エイドリアン・モリーナ共同監督・原案; ジェイソン・カット, マシュー・オールドリッチ原案; アンソニー・ゴンザレス, ガエル・ガルシア・ベルナル声の出演. — ウォルト・ディズニー・ジャパン (発売), 2017.v.                       |
| 2  | 45   | 778/Har/1/D     | ハリー・ポッターと賢者の石=Harry Potter and the philosopher's stone [映像資料: DVD 本編152分] / クリス・コロンバス監督; J・K・ローリング原作; ダニエル・ラドクリフ, ルパート・グリント出演. — ワーナー・ホーム・ビデオ (発売), 2001.v.                                  |
| 3  | 41   | 778.77/Tou/D    | 塔の上のラプンツェル=Tangled [映像資料: DVD 本編101分] / ネイサン・グレン, バイロン・ハワード監督; ロイ・コンリー製作; マンディ・ムーア, ザカリー・リーヴァイ声の出演. — ウォルト・ディズニー・スタジオ・ジャパン (発売), 2010. — (DisneyDVD).v.                                      |
| 3  | 41   | 778/Mai/D       | マイ・フェア・レディ [映像資料: DVD 本編173分] / ジャック・L・ワーナー製作; ジョージ・キューカー監督; バーナード・ショウ原作; オードリー・ヘップバーン, レックス・ハリソン出演. — ワーナー・ホーム・ビデオ (発売), 1964.v.                                                            |
| 5  | 38   | 778.77/Hau/D    | ハウルの動く城=Howl's moving castle [映像資料: DVD119分] / 宮崎駿脚本・監督; ダイアナ・ウィン・ジョーンズ原作; スタジオジブリ制作. — スタジオジブリ (制作), c2004. — (ジブリがいつだって COLLECTION / スタジオジブリ制作: . Studio Ghibli DVDvideo). v.              |
| 6  | 35   | 778.21/Rig/D    | リーガル・ハイ [映像資料: DVD 本編526分] / 石川淳一, 城宝秀則演出; 堺雅人, 新垣結衣出演. — フジテレビジョン (発売), 2012.v.                                                                                                             |
| 7  | 32   | 778.77/Moa/BD   | モアナと伝説の海=Moana [映像資料: BD, DVD 本編約107分] / ジョン・マスカー, ロン・クレメンツ監督; アウリイ・カルバーヨ, ドウェイン・ジョンソン声の出演. — ウォルト・ディズニー・ジャパン (発売), 2016.v.                                                                  |
| 8  | 31   | 778/Pur/D       | プラダを着た悪魔: 特別編 =The devil wears Prada [映像資料: DVD 本編110分] / デイビッド・フランクフル監督; ローレン・ワイズバーガー原作; アン・ハサウェイ, メリル・ストリープ出演. — 20世紀フォックスホームエンターテイメントジャパン (発売), 2006.v.                                   |
| 9  | 29   | 778/Har/3/D     | ハリー・ポッターとアズカバンの囚人=Harry Potter and the prisoner of Azkaban [映像資料: DVD 本編142分] / アルフォンソ・キュアロン監督; J・K・ローリング原作; スティーブ・クロープス脚本; ダニエル・ラドクリフ, ルパート・グリント出演. — ワーナー・ブラザーズ・ホームエンターテイメント (発売), 2004.v. |
| 9  | 29   | 778/Har/4/c.1 D | ハリー・ポッターと炎のゴブレット=Harry Potter and the Goblet of Fire [映像資料: DVD 本編157分] / マイク・ニューウェル監督; J. K. ローリング原作; ダニエル・ラドクリフ, ルパート・グリント出演. — ワーナー・ホーム・ビデオ (発売), 2005.v.                                 |

1位は続編制作も決定している『リメンバー・ミー=Coco』。ディズニー映画とハリー・ポッターシリーズは、授業で原作も含め取り上げられることが多いせいか利用が多いようです。

みなさん、本も視聴覚資料もどんどん利用してくださいね！

## 視聴覚資料 図書館 2F

図書館では、教養資料からみんなが楽しめる映画資料まで、DVD・BD等の視聴覚資料を豊富に所蔵。特に映画は5,000点以上所蔵しています。

図書館内の視聴ブースは、1人はもちろんグループでも利用できます。

※DVD・BD等は館内利用のみです。

### 映画を使った学習法

アニメは簡単な単語やストーリーが多く、発音も聞き取りやすいから初心者向きだよ！

お気に入りの映画で、楽しみながら行うことが長続きのコツ！



図書館キャラクター トリイ

### 映画を使った語学学習

#### Step 1 英語音声・日本語字幕



出来る限り英語音声聞き取り、日本語字幕で筋筋と登場人物を理解しましょう。Step 1をしっかり行うことで、Step 2をスムーズに行うことができます。

#### Step 2 英語音声・英語字幕



英語音声と英語字幕のスピードに慣れましょう。英語音声を英語字幕で理解しましょう。映画全編は長いので、1つのチャプターを繰り返し再生することをお勧めします。Listening、Readingだけでなく、分からない単語は辞書を引いて、語彙力アップにもつなげましょう。

#### Step 3 英語音声のみ(字幕なし)



Listeningに挑戦しましょう。英語音声のみで内容を理解しましょう。字幕が無いことで、より音声と画面に集中することができます。Listeningに慣れたら、細かいニュアンスを読み取りましょう。作品の時代背景やその場に合わせた言葉の選び方、組み合わせ方を学べます。

#### Step 4 英語音声のみ(字幕なし)



Dictationに挑戦しましょう。聞き取った英語音声を書くことで、似ている単語の聞き間違いや聞き取れない前置詞等、苦手な箇所を把握することができます。また、書き取った文章が文法的に正しいかも確認しましょう。字幕で答え合わせを行った後、再度Dictationに挑戦しましょう。

#### Step 5 映画の原作を洋書で読む

洋書に挑戦しましょう。映画で描ききれなかった細かい設定を原作で発見できます。原作を読みこんだら、要約や翻訳へのチャレンジをお勧めします。

### ポイント！

- 映画を通して、語学以外の歴史や文化も学べます。
- 海外はもちろん、知っているようで知らない日本についても映像で学べます。
- 映画以外にも、地理・歴史・文化・アート・就職等、さまざまな分野の視聴覚資料を所蔵しています。

## ① nünü DISCOVERY

図書館の所蔵だけでなく、データベース等もまとめて検索できる便利なシステムです。いまや紙に印刷されたものだけが図書館で扱う資料ではありません。図書館が提供するさまざまな学術情報（図書、雑誌、データベース、電子ジャーナル、電子ブック、論文等）を一括検索できるツールにより、求める情報を広く容易に入手できます。OPAC からアクセスできます。

## ② 蔵書検索 OPAC

図書館が所蔵する図書、雑誌、視聴覚資料を検索することができます。電子ジャーナル、電子書籍も含まれます。学外からでも使えるので、家で事前に調べておけば図書館でスムーズに目的の資料にたどりつけます。

## ③ 電子ジャーナル・電子ブック

電子ジャーナルは、“オンラインジャーナル” “e-Journal (EJ)” ともいいます。一番のメリットは、図書館に足を運ばなくても学内の端末からアクセスして読めることです。開館時間を気にする必要もありません。しかも紙媒体と違い、同時に複数の人が読めます。データベースと相互にリンクされている場合も多くあります。“オープンアクセス” といってインターネット上で無料で閲覧できるものであれば、学外からでも読むことができます。

電子ブックは、“eBook” ともいいます。

図書館では、【EBSCO eBook Collection】【KinoDen】【Maruzen eBook Library】【JapanKnowledge Lib】の4種類が使用できます。なかでも、【EBSCO eBook Collection】は多読用図書や教養書など5,000以上のタイトルを保有しています。図書館 OPAC から検索して読むことができ、個人アカウントを取得すれば学外からでも読むことができます。早いうちに取得してフル活用してください。

## ④ 電子資料

雑誌に掲載された記事や論文、新聞記事を探す時、それぞれ専用のデータベースを使います。検索してそのまま全文を読むことができるものも数多くあります。辞書・事典のデータベースもあるので、早いうちにデータベースの達人になればレポートや課題をスムーズにこなすことができます。

## ⑤ MyLibrary

NUFS-ID・PW で“MyLibrary” にログインすることによって、貸出図書の延長手続きや図書の予約、自分の貸出履歴や貸出状況の確認などができるほか、いくつかのデータベースも学外から使用できます。“My ブックシェルフ” を使えば、検索した資料情報や、検索条件を保存することができます。レポートや課題の下準備に使えるとても便利な機能です。

# お目当ての資料を探すなら図書館HPにアクセス

授業等でたくさん出される課題……「資料を探さないといけないけれど、どうしたらいいんだろう?」と困っていませんか。そんな時は図書館のHPにアクセスしてください。スマホからでも大丈夫!

おまけに、VPN 接続サービスを利用すれば、学内利用と同じように利用することができます。1年生から使いこなして、“情報の達人”を目指しましょう!

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館  
Nagoya University of Foreign Studies &  
Nagoya University of Arts and Sciences Library

English

Q このサイト内を検索

|      |        |         |      |           |
|------|--------|---------|------|-----------|
| 利用案内 | データベース | 図書館活用ナビ | 申請書類 | 開館時間カレンダー |
|------|--------|---------|------|-----------|

①  
nūnū DISCOVERY

②  
蔵書検索OPAC

③  
電子ジャーナル・電子ブック

名古屋外国語大学・名古屋学芸大学の所蔵資料・データベース・電子ジャーナル・電子ブックをはじめ図書館内外の文献を幅広く探せます。

検索ワード

遠隔授業支援  
図書館資料  
郵送貸出サービス

④  
電子資料  
各データベース等から文献を探す

⑤  
MyLibrary  
貸出状況確認、延長、予約等がパソコンやスマホで行えます

竹の庫：学術機関リポジトリ  
本学の研究成果(研究紀要等)を電子データで保存・発信しています

図書館では、さまざまなサービスを提供しています。

詳しくは、右の QR コードから HP にアクセスして是非確認してみてくださいね。



図書館キャラクター トリイ

## また会いましょう

名古屋外国語大学の1年生に向けて年に1度発行しているこの小冊子『PIAZZA』は、ついに第10号を迎えることになりました。創刊したときからもう10年が経ったことになります。第1号を手にした当時の大学1年生が、今はもう30歳近くになっているはず。日々の生活で手いっぱい、時の流れなんて普段は気がつかず、世の中も自分もあまり変わらないように思えても、1年経てば良きにつけ悪しきにつけ、かなりの変化があるものです。これが10年となると……。こういう機会にふと立ち止まって、10年前のことを思い出すと、世の中も、自分や自分の周りの人や状況も、今とはずいぶん違っていたことに気づいて驚かされます。若い1年生の皆さんにとってみれば、10年前の自分なんて、今の自分とは全く違う生き物だったでしょうね。これから先も、10年、20年と、年を重ねていって、その変化を楽しんでいってください。

(K.K.)

### 名古屋外国語大学出版会

|       |                                                                                     |
|-------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| 会長    | 亀山郁夫（学長）                                                                            |
| 副会長   | 恒川孝司（副学長・名古屋学芸大学副学長・法人事務局長）                                                         |
| 編集長   | 大岩昌子（外国語学部フランス語学科教授）                                                                |
| 副編集長  | 甲斐清高（外国語学部英米語学科教授）                                                                  |
| 編集長補佐 | 原慎之介（現代国際学部グローバルビジネス学科准教授）                                                          |
| 編集主任  | 金関ふき子                                                                               |
| 編集委員  | 石田聖子（世界教養学部世界教養学科准教授）<br>吉見かおる（現代国際学部現代英語学科准教授）<br>マルシャレンコ ヤコブエリック（世界教養学部国際日本学科准教授） |
| 事務局   | 上野哲也（大学事務局長）<br>福壽佳音（大学事務局職員）                                                       |

表紙 新井理久

協力 名古屋外国語大学・名古屋学芸大学図書館

『PIAZZA』は名古屋外国語大学出版会が、2016年度より発行している冊子です。今回の特集は「夢と出会う」。「あなたの夢は？」学生時代、何度も投げかけられた問いに、私はそのたびに違う答えを返していたように思う。明確な夢を持ち続ける人を羨ましく感じながらも、周りの影響を受けやすい自分は、日々答えを探していた。でも、ダーウィンの進化論にあるように「変化すること」が生き残る術だとすれば、夢が変わることも、きっと悪いことではないのかも。夢を探す過程も楽しみながら、みなさんの大学生活が実りあるものになりますように。お忙しいなか製作にご協力いただいた皆さま、ありがとうございました。

(出版会事務局)

### PIAZZA [ピアッツァ] 2025 年秋号（第 10 号）

発行日 令和 7 年 9 月 1 日

発行者 亀山郁夫

編集人 大岩昌子

発行 名古屋外国語大学出版会 Nagoya University of Foreign Studies Press

470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57番地

<https://nufs-up.jp/> 電話 0561-74-1111

印刷 株式会社荒川印刷

# <世界教養>の知のひろばへ

本大学の書店、またはお近くの書店でお求めください。

## Artes MUNDI 叢書 .....



### 食材と調理の世界地図

佐原秋生  
大岩昌子 編  
2200 円 (税込)



### ザ・ワールド・ウィズ・アス 世界はわたしたちとともに

名古屋外国語大学 編  
1320 円 (税込)



### 世界文学の小宇宙 ③ 詩集 愛、もしくは別れの夜に

亀山郁夫  
エリス俊子 編  
2860 円 (税込)



### 世界文学の小宇宙 ② 囚われて

沼野充義  
藤井省三 編  
2420 円 (税込)



### 世界は映画で できている

石田聖子  
白井史人 編  
2200 円 (税込)



### 世界文学の小宇宙 ① 欧米・ロシア編 悪魔にもらった眼鏡

亀山郁夫  
野谷文昭 編訳  
2200 円 (税込)



### 世界が終わる 夢を見る

亀山郁夫 著  
1650 円 (税込)



名古屋外国語大学出版会  
Nagoya University of Foreign Studies Press

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57番地

TEL 0561-74-1111 FAX 0561-75-1723

<https://nufs-up.jp/>

# <世界教養>の知のひろばへ

本大学の書店、またはお近くの書店でお求めください。

## 学術図書



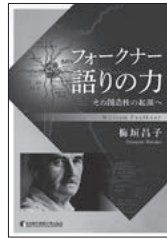
**矛盾回想録**  
ー私の歩んできた道 上巻

呂雷寧 中井政喜 訳  
4950円(税込)



**矛盾回想録**  
ー私の歩んできた道 下巻

呂雷寧 中井政喜 訳  
4950円(税込)



**フォークナー 語りの力**  
その創造性の起源へ

梅垣昌子 著  
4950円(税込)



**ドストエフスキー**  
表象とカタルストロフィ

亀山郁夫 望月哲男  
番場 俊 甲斐清高 編  
3300円(税込)



**言語の構造**  
ー人間の言葉と動物の叫びー

川原功司 著  
6930円(税込)



**魯迅**  
後期試探

中井政喜 著  
7150円(税込)

## NUFS WORKS



**ネム船長の哲学航海記Ⅲ**  
**罪びととワインを**  
**酌み交わしたイエス**  
ーもう、聖書につまづかない

根無一信 著  
名古屋外大ワークス 10  
2750円(税込)



**ホスピタリティを磨く**  
**20のレッスン**

今泉景子 著  
名古屋外大ワークス 9  
1760円(税込)



**ネム船長の哲学航海記Ⅱ**  
**はじめての比較宗教学**  
なぜ「今日はツイている」のか

根無一信 著  
名古屋外大ワークス 8  
2200円(税込)



**ネム船長の哲学航海記Ⅰ**  
**ソクラテスからの質問**  
「価値は人それぞれ」でいいのか

根無一信 著  
名古屋外大ワークス 7  
1760円(税込)



**名古屋外国語大学出版会**  
Nagoya University of Foreign Studies Press

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57番地

TEL 0561-74-1111 FAX 0561-75-1723

<https://nufs-up.jp/>

## NUFS WORKS



**現代ヨルダン・レポート**  
アラブの女性たちが語る  
慣習・貧困・難民  
佐藤都喜子 著  
名古屋外大ワークス 6  
2200 円 (税込)



**牧畜を人文学する**  
シンジルト  
地田徹朗 編著  
名古屋外大ワークス 5  
2200 円 (税込)



**まちづくり心理学**  
城月雅大 編著  
名古屋外大ワークス 4  
1870 円 (税込)



**アボリジニであること**  
濱嶋 聡 著  
名古屋外大ワークス 3  
1320 円 (税込)



**留学と日本人**  
濱丹羽健夫 著  
名古屋外大ワークス 2  
880 円 (税込)



**サミットがわかれば世界が読める**  
高瀬淳一 著  
名古屋外大ワークス 1  
814 円 (税込)

## 新書



**世界言語  
12の探めき**  
名古屋外国語  
大学 編



**世界教養  
72のレシピ**  
名古屋外国語  
大学 編  
1320 円 (税込)



**食と文化の  
世界地図**  
佐原秋生  
大岩昌子 著  
1320 円 (税込)

## 教科書・参考書



**言語とコミュニ  
ケーション**  
伊藤達也 編著  
1650 円 (税込)



**アカデミック  
スキル**  
真田郷史  
長谷川暁人 著  
1100 円 (税込)



**第二外国語で学ぶ  
アラビア語  
入門**  
松山洋平 著  
3080 円 (税込)



**学びの技法**  
地域を読み、世界を拓く10章  
現代国際学部  
国際教養学科 編  
1100 円 (税込)



**名古屋外国語大学出版会**  
Nagoya University of Foreign Studies Press

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57 番地

TEL 0561-74-1111 FAX 0561-75-1723

<https://nufs-up.jp/>

# <世界教養>の知のひろばへ

本大学の書店、またはお近くの書店でお求めください。

## 教科書・参考書



**POWER-UP  
DIALOGUE  
I**  
1100 円  
(税込)



**CORE  
ENGLISH**  
1870 円  
(税込)



**Engage**  
1980 円  
(税込)



**Thinking  
about  
Japan**  
1760 円  
(税込)



**POWER-UP  
DIALOGUE  
II**  
1100 円  
(税込)

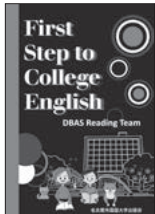


**Core  
English  
Workbook**  
880 円  
(税込)



**Thinking  
about  
Culture**  
1760 円  
(税込)

## NUFS 英語教育シリーズ



**First Step to  
College English**  
名古屋外国語大学  
英米語学科リーディ  
ングチーム 編  
1100 円 (税込)



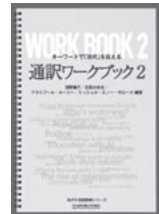
**Listening Tips**  
リスニングUPのためのポイント20  
新居明子 金子理紗  
杉山真央 著  
上田 功 監修  
990 円 (税込)



英語コアカリキュラム対応  
**英語の諸相**  
ー音声・歴史・現状ー  
川原功司 著  
1320 円 (税込)



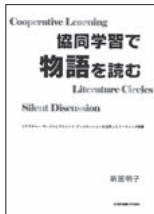
世界のトピックで学ぶ  
**通訳ワークブック**  
浅野輝子  
吉見かおる 編著  
2750 円 (税込)



キーワードで「現代」を伝える  
**通訳ワークブック2**  
浅野輝子  
吉見かおる 編著  
2420 円 (税込)



英語が好きな子供を育てる  
**魔法のタスク**  
～小学校英語のために～  
佐藤一嘉  
矢後智子 編著  
2750 円 (税込)



協同学習で物語を読む  
新しい授業のために  
新居明子 著  
1430 円 (税込)



**名古屋外国語大学出版会**  
Nagoya University of Foreign Studies Press

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57番地

TEL 0561-74-1111 FAX 0561-75-1723

<https://nufs-up.jp/>

## はじめの1000語シリーズ .....



韓国語  
はじめの1000語  
1100円(税込)



スペイン語  
はじめの1000語  
1100円(税込)



アラビア語  
はじめの1000語  
1100円(税込)



フランス語  
はじめの1000語  
1100円(税込)



中国語  
はじめの1000語  
1100円(税込)



イタリア語  
はじめの1000語  
1100円(税込)

## 世界の絵本シリーズ .....



### おじいさんと池

マックス・デュコス 作  
木内堯 訳  
2420円(税込)

## その他 .....



### 名古屋外大がキミに薦める 世界の長編小説40

名古屋外国語大学出版会 発行  
330円(税込)



### アフターハイスクール 日本の中心で出会う多文化・多言語

名古屋外国語大学出版会 編  
1430円(税込)



名古屋外国語大学出版会  
Nagoya University of Foreign Studies Press

〒470-0197 愛知県日進市岩崎町竹ノ山57番地

TEL 0561-74-1111 FAX 0561-75-1723

<https://nufs-up.jp/>



9784908523397

ISBN 987-4-908523-58-8

C9402 ¥100E



1929402001004

定価：110円（本体100円＋税10%）

